

児童養護施設「青葉学園」の除染費用について ご協力をお願い

澤田和美

kzmsawada@image.ocn.ne.jp

児童養護施設とは？

昨年末、タイガーマスクで脚光を浴びた「児童養護施設」ですが、親の養育が受けられない18歳までの子どもたちが入所しています。

入所者の背景は、戦後、戦災孤児のために多く設立されましたが、今は被虐待児8割(うち2～3割が発達障害児)、残りの2割は親が(精神)疾患といった子どもたちと言われています。

福島の児童養護施設

福島原発の影響を受けている福島には8つの児童養護施設があります。この子どもたちは、放射性物質から避難しようにも、親のところにも帰れない、また被ばくを避けるための行政に訴える活動も施設の人たちが保護者を代弁するしかない状態です。

施設ごと避難したくても受け入れ先を見つけることは容易ではありません。私見では障害児(者)施設、老人介護施設以上に受け入れ先は見つからないと思っています。

私は8月以来、福島市の青葉学園から被災時～現在までの状況を聞かせてもらっています。

青葉学園 <http://www.kosodate-web.com/aobagakuen/index.php>

福島の原発事故の状況

311 東日本大震災後の福島原子力発電所の水素爆発で1720万キュリー(1キュリー=3.7×10¹⁰ベクレル)という大量の放射線物質が飛散され、その後も6月下旬の測定で推定1日当たり240億ベクレルの放射線物質が放出され、そして報道されていませんが、現在も放出が続いているようです。その中で、公的負担で福島県は除染を始めています。

児童養護施設の除染

公的負担は、半額のみ補助です。さらにその基準額は、1平米900円のみです。(平らな土地に大きな重機を入れてかかる費用が一律適応されているようです)

青葉学園は福島市内のフルーツラインの上であり、周囲を果樹園に囲まれた丘陵です。ですから、除染の為に重機を入れるにも塀をのけたりせねばなりません。また住居においては、高圧洗浄機で洗い流しています。このため、青葉学年の場合約2000万円に及ぶ自己負担が発生するようで、資金を集めてから、土の除染作業依頼する段階です。

子どもの被ばくリスク

大人における被ばくリスクについては多く報道されていますが、成長期、細胞分裂の盛んな時期の子どもは大人以上の人体への影響があります。しかしエビデンスがないため、また不安をあおることにもなり大きく取り上げられていません。

児童養護施設は、放射性物質の影響を受けやすい子どもたちが集団で生活をしています。この生活の場の除染を早期に進めないと子どもたちの将来の健康に影響を及ぼすことは必須です。ところが不幸なことに、子どもたちを守るために声を上げる親たちは子どもたちを守れる状態にはありません。そして施設の方々も日常業務で多忙で、この実態を民間に訴える余力が十分ではありません。

そこで、私が声をあげる事にしました！

お志のある方、下記の青葉学園へ少しでもご寄付いただければ幸いです。

東邦銀行 本店 普通預金 12888

社会福祉法人 青葉学園

(福島市土船字新林24番地 電話024-593-1022)

寄付控除希望の方は、振込後にご住所を「青葉学園神戸信行先生」宛にお知らせください

振り込み手数料のご負担もお願いします